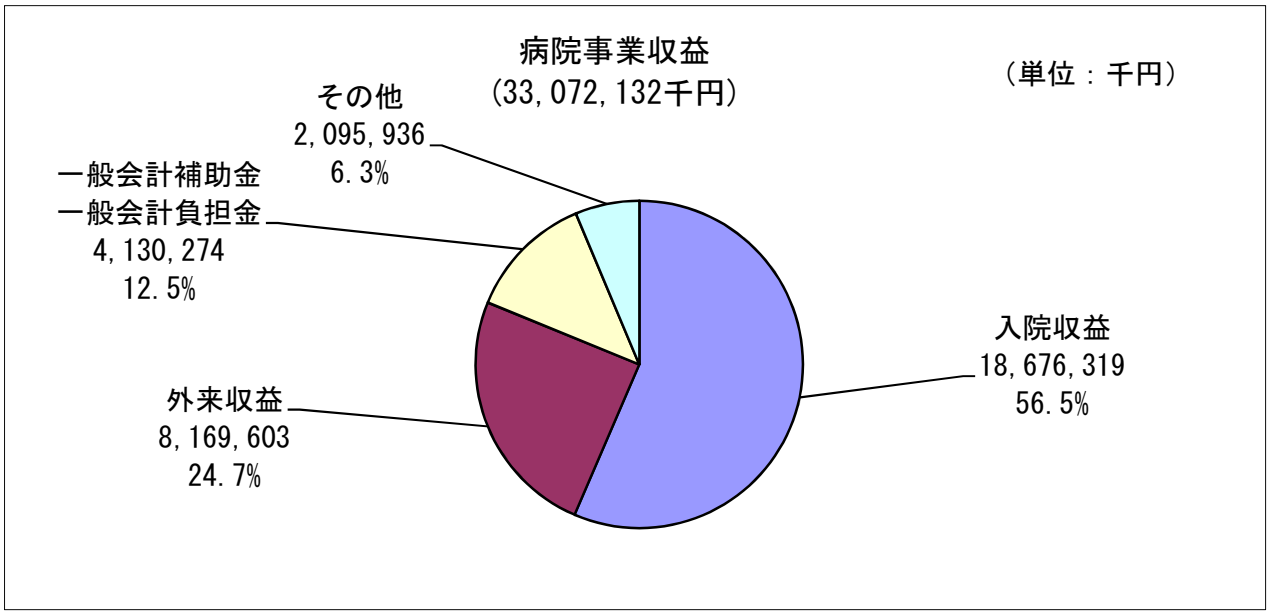
名古屋市病院事業会計　平成30年度決算の概要

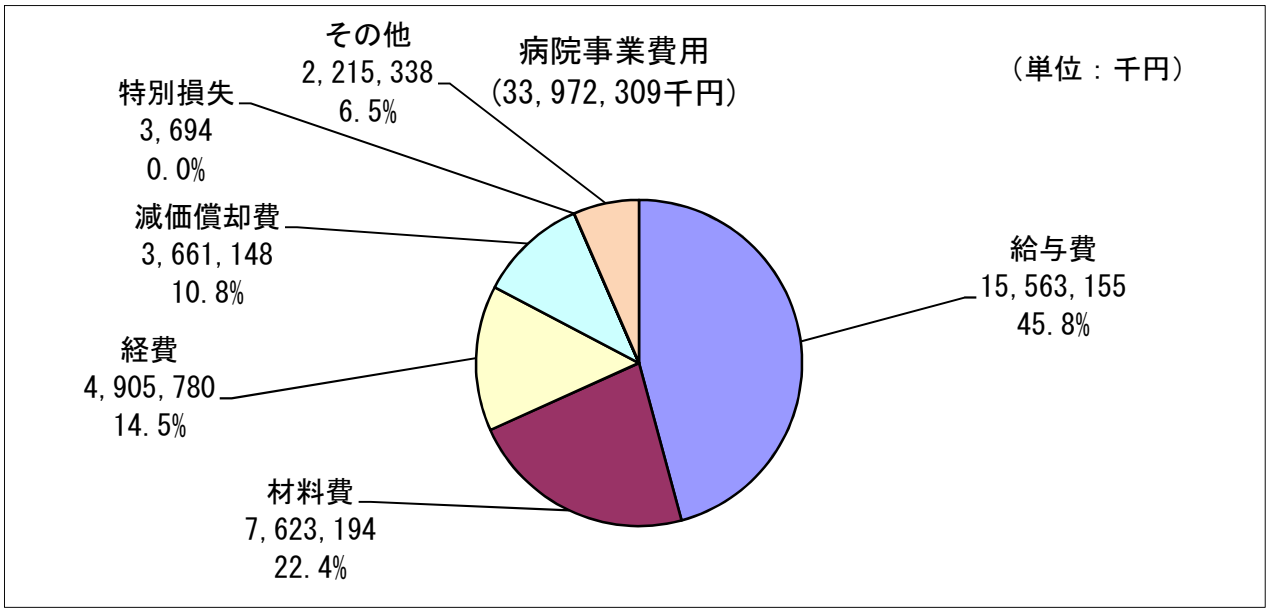
1　病院事業全体の収支

名古屋市病院事業は、東部医療センター、西部医療センター及び緑市民病院（指定管理者による運営）の３市立病院を設置し、市民の皆さまに医療の提供を行ってまいりました。

平成30年度における病院事業会計の収益的収支は、総事業収益は、前年度に比べ医業収益が増加したことなどに伴い、12億 6千 百万円余増の 330億 7千 2百万円余であるのに対し、総事業費用は、材料費が増加したことなどに伴い、13億 5千 3百万円余増の 339億 7千 2百万円余となりました。その結果、9億円余の当年度純損失となり、当年度未処理欠損金は 104億 9千 2百万円余となりました。

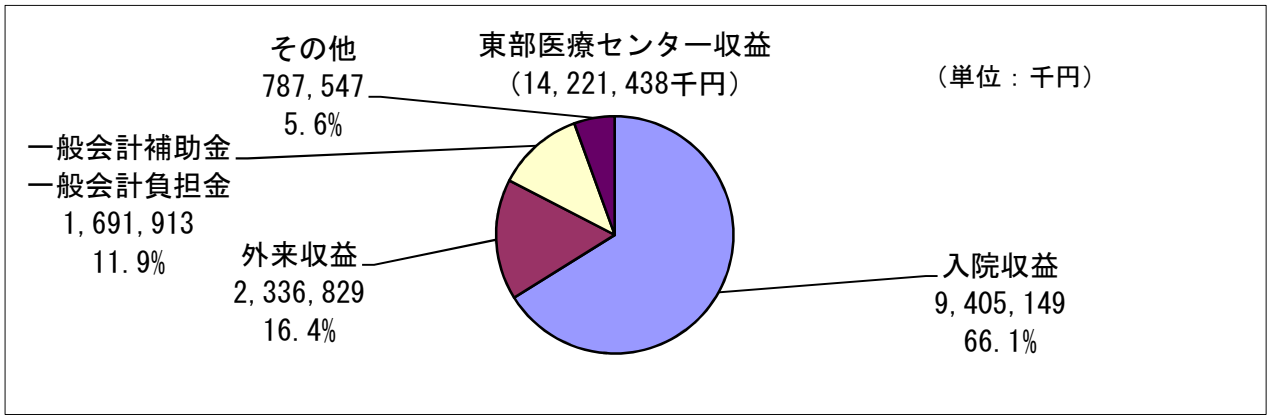
平成30年度は主な建設改良事業として、東部医療センターでは病棟改築工事、西部医療センターでは病歴管理室改修工事を行い、東部医療センターの自動血球分析装置、西部医療センターの電子内視鏡システム、緑市民病院の電子カルテ携帯端末など、各病院の設備充実にも努めました。

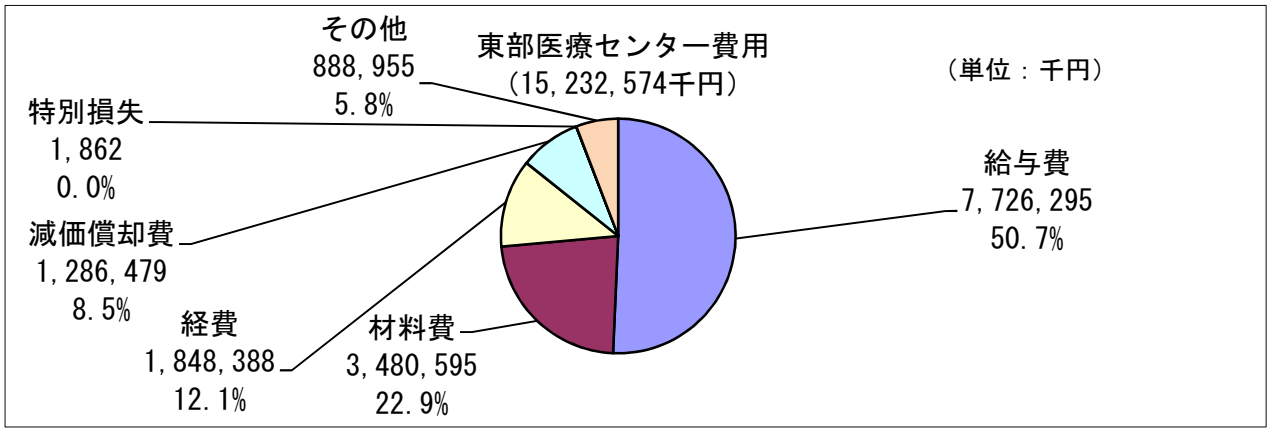




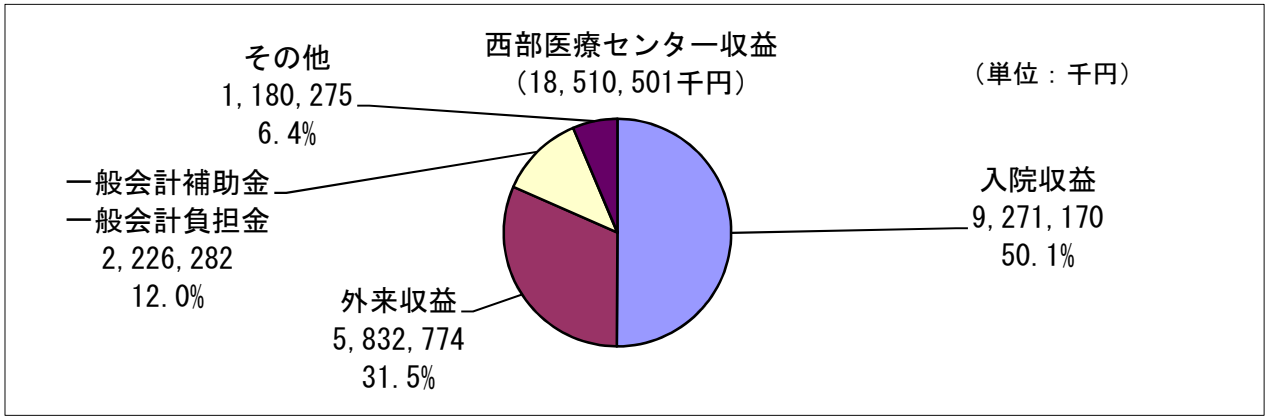
2　各病院の収支

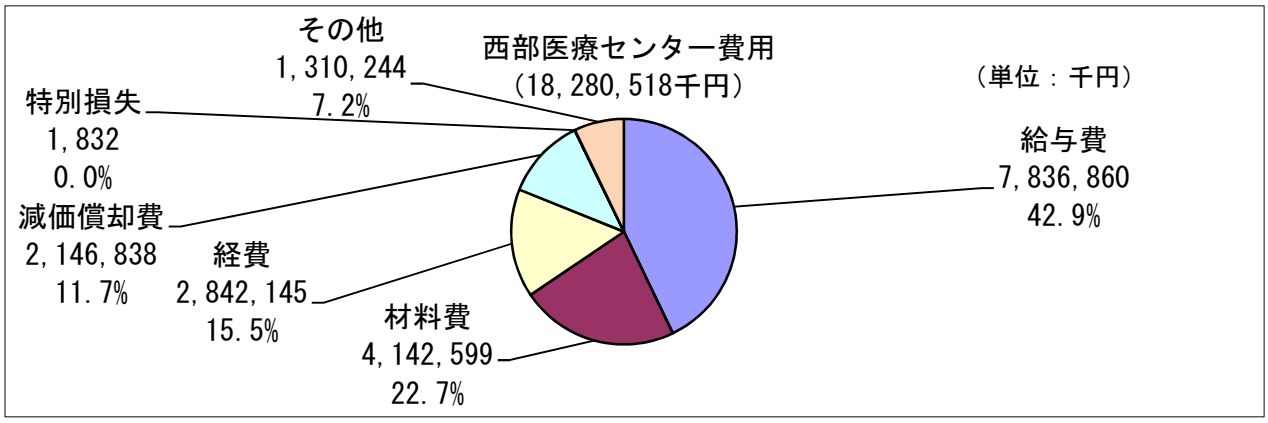
(1) 東部医療センター



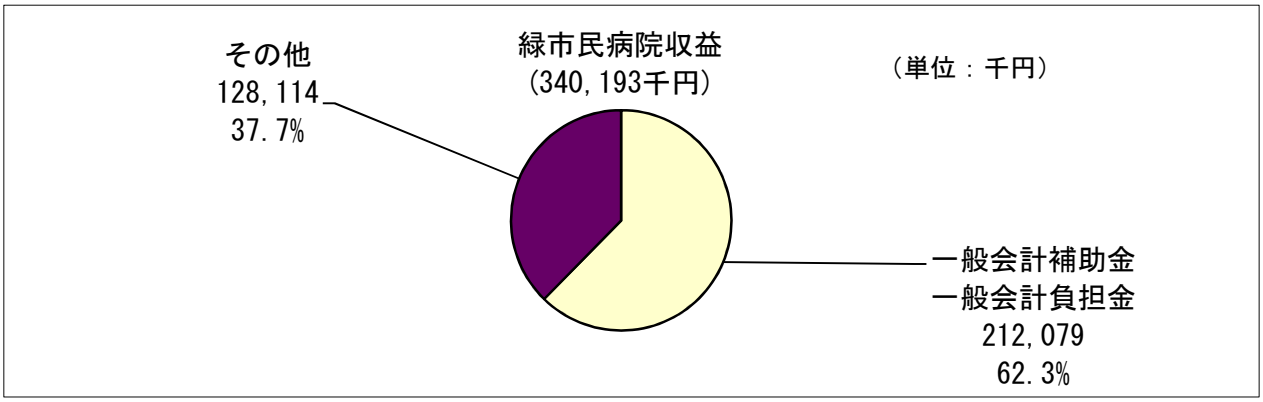


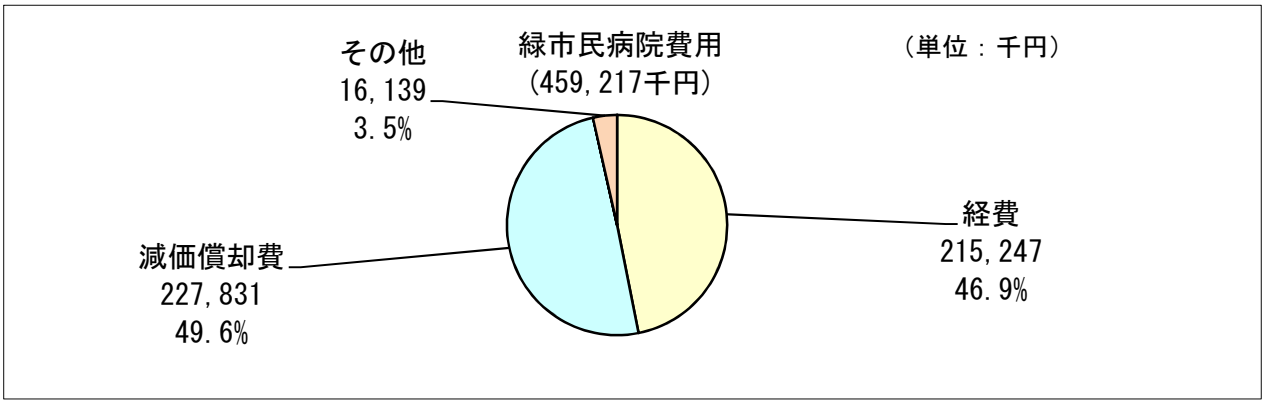
(2) 西部医療センター





(3) 緑市民病院


緑市民病院収益
(340,193千円)
（単位：千円）
その他
128,114
37.7%
一般会計補助金
一般会計負担金
212,079
62.3%


緑市民病院費用
(459,217千円)
（単位：千円）
その他
16,139
3.5%
減価償却費
227,831
49.6%
経費
215,247
46.9%